



題字(故)林 邑一

第36号

平成15年3月31日
阿品台地区
コミュニティーをすすめる会
事務局
(TEL39-4338)
阿品台地区人口世帯数
平成15年10月1日現在
人口 男 4,723人
10,040人 女 5,317人
世帯数 3,528世帯
高齢化率 14.7%
(市14.8)

われら森林整備サポーター



廿日市西高等学校の北側斜面にある「阿品の森入口」の木製看板をご存知ですか？あれ、いつの間に？実はこの看板、市民有志の会「阿品の森サポータークラブ」のメンバーによるもの。

「交流の森」「野鳥の森」「学習の森」として、広く一般市民の憩いの場を創出することを目的に活動されています。

昨年には、阿品台西小学校のやすらぎの森へ分けられたカブトムシが、本家本元より沢山誕生子どもたちが大変喜んだそうです。



Take Me Out
to the Ball Game
今年もまたこの曲
が、テレビから聞か
れる季節となった。

「わたしを野球に連れてって」
そう、大リーグ中継の7回表と

裏の間に観客が大合唱するあの

阿品の森憲章

- 一 この森は、日本古来の里山林として整備したものです。
- 二 ツバキやツツジなど花の咲く木は、できるだけ残しています。
- 三 この森に生えている植物は、いじめないでください。
- 四 ゴミは自分で持ち帰ってください。
- 五 タバコなど火の始末は、完全にしてください。
- 六 危険な場所には、近寄らないでください。
- 七 公園ではないので、安全施設はありません。
- 八 ケガなど災害の責任は、いっさい自分持ちとします。
- 九 野犬(のら犬)に注意してください。

★関連記事を4面に掲載しています。

歌。1976年にシカゴ・ホワイトソックスのアナウンサーがオルガンの演奏にあわせて歌ったことから、アメリカ中に広まり、今では、「アメリカ国歌」や「ハッピーバースデー」などと並んで、アメリカで最もよく知られた歌となっている。

この詩を書いたのはジャック・ノーワース。この人野球にはまったく興味がなく、たまたまニューヨークの地下鉄で野球広告のポスターを見て、わずか15分で書きあげたそう。

片や、昨年の阪神ファイバー。「六甲おろし」と共に人騒がせな川へのダイビング。所変われば：ということなのだろうか？何はともあれ、今年もピーナツとグラスを片手に、イチローやゴジラ、リトル両松井選手達の活躍をたのしみたいものだ。

自分を守ろう

おれおれ

詐欺

おれおれ

対策は！

電話の対応

その手口

- ④
 - ③
 - ②
 - ①
- ① 先ず、疑ってみる。信用は禁物。
 ② 長話しは相手の思う壺、早く電話を切る。
 ③ 相手の電話番号を必ず聞く。
 ④ 折り返し子供や孫に電話し、事実を確かめること。

- ④
 - ③
 - ②
 - ①
- ① 先に相手に名前を言わせる。
 ※「あんたは誰？」と先に名前を言わす。
 ② 電話のあと、すぐにお金を振り込まない。
 ③ 警察や親戚などに相談する。
 ④ 相手の電話番号を必ず確認しておく。

- ③
 - ②
 - ①
- ① 「おれおれ、だ！」と孫だと言う。
 ② 口座を指定し、現金を振り込むよう言う。
 ③ 「ごめん、僕（俺）だ」の泣き声！使う。
 警察官・弁護士・会社の上司と名乗る者に代わり、現金の振り込みを要求する。

最近、高齢者の方々に対して、子供や孫を装って電話をかけ、交通事故の示談金や借金の返済等と称して多額の現金を口座に振り込ませて騙し取る詐欺事件が多発しています。
 ある時は身に覚えのない不当な架空請求のハガキが届くことがあります。迷惑千万です。被害にあわないよう、しっかり自分を守りたいものです。

典型的な事例



お父さんやお母さんにも誰にも言わないでくれ！
 友人の借金の保証人になったけど、その友人がいなくなった。
 いくらがでも払わんといけん！
 ばあちゃん、すまんけど今から言う口座に振り込んでくれんが…。

担当者ですが、払ってもらわないと大変なことになります。

減らそう犯罪 護ろう我々の街を 我々の手で



ちよつと待った!

振り込む前に確認を!



不当 架空請求

(資料として広島県警察本部「減らそう犯罪情報官」、廿日市市警察署から提供いただきました。)

ある日、あなたの手許に、突然身に覚えのない架空請求もハガキ(封書)が舞い込みました。
さあ、あなたはどうしますか?

次のうち、どの方法を選びますか

- ①破って捨てる。
 - ②相手方(書いてある番号)に電話する。
 - ③警察に届ける。
- ②が一番危険。大金を失う羽目になる。
①、③が最も賢明です。

わたし達の阿品台地区にも、この種のハガキが届いているそうです。被害に合わないよう、自分の身は自分でしっかり守りましょう。

動 活 レ ポ ー ト

防犯と防災

浜崎 武彦

近年、多発する犯罪や少年非行等についてはマスコミでは、賑やかに報道されています。その内容は凶悪化・低年齢化の傾向が顕著のようです。

私たちの阿品台地域でも平成十年の夏から、

夜間、阿品モール前にたむろする無職・有職少年や中高生が増え、深夜徘徊や一部少年は暴走行為を繰り返し地域住民に多大な迷惑をかけた。

この現象を憂慮した地元有志が集い阿品台地域自主防犯組織を設立し、活動を開始することになりました。

勿論、警察当局とも緊密な連携のもと、相互の協力によって行われました。その結果、最近では暴走行為は鳴りをひそめた感じさえします。

「我々の街は我々の手で守る」をスローガ

ンに防犯の実践活動と関係機関への働きかけによって、総合的な施策により自主防災・防犯体制の強化を図り、もって地域の安全と福祉の充実に寄与できる活動でありたい、と考えています。

本会は、会の趣旨に賛同する会員をもって組織し、活動は原則として毎月十七日(青少年の日)午後八時から九時まで情報交換とパトロールを実施しています。

地域の安全運動に協力して下さる方は是非ご参加下さい。「治に居て乱を忘れず」地域コミュニケーションと住民のふれ合いは大切です。安心して住める安全な街づくりへの取り組みを皆様と共に考えようではありませんか。

(阿品台地域安全協議議会会長)

地域の話題

“里山の楽しさ 美しさを守ろう”

阿品の森サポータークラブ

事務局長 井上 年光

一、はじめに

阿品の森は、阿品台団地に隣接する（山九社宅・廿日市西高等学校の北側）21haの市有林で、以前は薪炭林として利用されたり、山頂では狼煙のろしがあげられ漁の目印となっていました。最近では入手も入らず大変荒れていました。



「この森を美しい里山林として後世に残したい」と行政（廿日市市）が呼びかけたところ、廿日市市を中心とする市民ボランティア（現会員90名）が、森林整備サポーターとして集まりました。

会の名称を「阿品の森サポータークラブ」と名づけ、平成12年11月に活動をスタートしました。

二、活動の内容

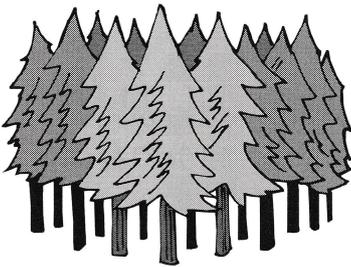
毎月第4土曜日を活動日と決め、最初の三年間は、行政主導の活動で、ノコヤカマの使い方から教えて貰い、今ではチェーンソーを駆使して森林整備・竹林整備・歩道整備などの山仕事に励んでいます。

平成15年度からは、自主的に活動するボランティア組織として、行政の手を借りず、全てみんなの話し合いのもとに、年間活動計画を立てて活動しています。

第4土曜日は定例活動を、第2土曜日は自主活動として、定例活動で出来なかった作業の仕上げをするようにしています。

昨年度はビオトープづくりが主な作業でしたが、この2月にやっとビオトープの形が完成し、後はまとまった雨降りを期待しているところです。

夏の定例活動日には、夏休みの思い出になるよう「メダカの放流」を地元の小学生とともに楽しみたいと考えています。この池には、ブラックバスやブルーギルなどの外来魚は、一切入れないようにご協力を今からお願ひしておきます。



会員の募集

会員は随時募集しています。近所のお知り合いの既会員が事務局（39-13317）井上までお申し出ください。

年会費は2,000円で、このうちケガなどの保険料が、一人年間1,500円であとは通信費となります。

作業には参加できないが、趣旨に賛同して賛助会員なら参加したいと思われる方もおられると思います。

今後、年会費500円から、1,000円くらいで、賛助会員の募集をしたらと考えています。その節はよろしくお願ひいたします。